

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成31年3月10日

和泉市長 あて

団体名 和泉・ねころじの会

代表者名 小檜山 学

所在地

電話

平成31年5月10日付け和泉公民第466号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 2,972,163 円  
(うち、対象経費 2,574,114 円)
2. 交付決定額 775,039 円
3. 添付書類  
(1) 事業報告書（様式第12号）  
(2) 収支決算書（様式第13号）  
(3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業報告書

事業の名称	地域猫の活動
事業内容	<p>（主な対象者） ノラ猫問題を抱える和泉市内の諸地区住民および動物愛護者</p> <p>（事業の実施期間） 平成30年4月1日～平成31年2月28日</p> <p>（事業の実施場所） 和泉市内でノラ猫問題を抱え解決を希望する地区</p> <p>（事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼い主がいない猫の里親探しと増殖抑制・環境衛生の促進</li> <li>・ 協働による「地域猫」管理を通じての市民交流と和の促進</li> <li>・ 動物愛護と美化活動による心豊かで優しい町づくりの促進</li> </ul>
<p>事業の成果</p> <p>*別紙添付可</p>	<p>（参加者・スタッフの人数の状況） 参加者数〈述べ〉923人、スタッフ数〈述べ〉231人 （参加者の声）事業を受ける前、受けた後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで一人で動物愛護に努めてきたので、近隣住民の非難に曝され悩んでいた。地域猫活動の正しいルールを教えられて、生き方と考え方が変わった。</li> <li>・ 糞尿による臭い被害に悩まされていたが、連絡するとすぐに駆けつけて保護してくれるので活動を続けて欲しい。</li> <li>・ ノラ猫が庭を荒らすので困っていたが、相談すると殺処分せず解決してくれたのでとても頼もしく感謝している。</li> <li>・ 猫を譲渡してもらい里親になったが、飼い方や注意点を丁寧に教えてもらったお陰で生涯大切に育てられる。</li> <li>・ 4匹の猫を飼う高齢独り身で突然の入院に困惑。入院日から3ヶ月間の給餌と世話を引き受けて頂き、猫を手放さず済み救われた。</li> <li>・ 庭で餌やりしていた7匹のノラ猫が出産して14匹に。救済を求めると子猫の保護、庭掃除、猫小屋作りなど完璧にしてもらえ多頭崩壊を免れ、感謝と共に反省も多い。</li> <li>・ 周囲に変人扱いされ自身を失っていたが、事業活動に参加する事で新たに気付くことが多く、人との協力や社会との関わり合い方が何より大切だと再認識した。</li> </ul> <p>（事業を実施したことによる目標達成状況及び効果）</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 里親譲渡：目標 70頭→実績 85頭（前年 76頭）</li> </ul> <p>【総評】</p> <p>「ちょいず」に参加して4年、会の名前と活動内容の認知度はかなり浸透しました。お陰で住民協力によるコミュニケーションは大幅に促進され、活動目的に添った市民活動としての地位は向上し、意義も認識されました。今後も「心豊かな</p>

	<p>町づくり’政策に貢献すべく一層励んでまいります。</p> <p>また、潜在的なノラ猫問題を顕在化し、効果をもたらしたことが「動物愛護の精神」の啓蒙・啓発に大きな賛同と評価と期待を呼び、「地域猫活動」の社会的重要性が再認識されたことを実感します。</p> <p>小集団で発足した当会も現会員23名となり、活動の（和）は広域に亘ります。今後も活動内容を充実させつつ市民の絆役として、より盤石な組織体制を築いてまいります。</p> <p>（今回の申請事業の反省点）</p> <p>前年実績と比較した具体的理由に基づく反省です。</p> <p><b>【実績と反省】</b></p> <p><b>〔支出面実績〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼猫、仔猫に加え負傷猫の保護が増えたため、委託料（医療費）支出が昨年比20%程の大幅増となりました。</li> <li>・ 保護猫の増加により病院搬送と里親譲渡の回数が増えたことに加え、遠距離の里親譲渡が増えたことで旅費が昨年比25%増えました。</li> <li>・ 医療費は総支出のうち60%超を占め、中でも負傷した保護猫は手術や入院が伴うため多額となっています。</li> <li>・ 全体の30%を占める飼育及び生活費用については、良質なフードの大量購入や寄贈品の活用などで節約し、消耗品費を昨年比84%に節減しました。</li> </ul> <p><b>〔収入面実績〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 譲渡の際に里親様にお願いする医療負担金を増額した分、自主財源に厚み加わり収支バランスが改善できました。</li> <li>・ バザー、フリマへの参加時間（余裕）が無く、手作り品や仕入れ品の物品販売収益が昨年比33%と激減しましたが、初参加の第1回ビッグイベント「泉州猫祭」が大成功を収め恒例催事となったことは、将来の安定収入源の確保という成果に結びつきました。</li> <li>・ 寄付金は昨年比70%にとどまりました。特にネット呼び掛けに呼ぶる寄付金は発信者が増えたことで分散し安定性を欠く傾向が見られます。保護室の環境改善と保護猫の健康維持の管理レベルを向上するためにも新たな資金調達策の開拓が求められます。</li> </ul>
<p>課題（今後の方向）</p>	<p>昨年に対し増収したのは里親様からの医療負担金収入のみでした。反して、支出面では年々保護猫の頭数が増え続け、並行して委託料（医療費）と旅費（交通費）が増加傾向にあります。全体の収支としては昨年より約10万円の支出増で推移しており、年間では収支トントンの締めくくりとなりそうです。この傾向は会の存続と活動の継続に決して好ましいものではなく、多岐にわたる意識改革と組織改善が求められているものと認識しております。</p> <p>近年のボランティアの考え方では、運転資金と設備資金の確</p>

保に加え、次期への投資資金の確保と蓄積を保証する資金繰りが求められる時代です。その意味から、当会は従来の個人の寄付金だけに頼る意識を改め、新たな資金調達策の開拓が喫緊の課題だと考えます。

また、当会は規定と活動内容はもとより運営のあり方を大きく見直す時期を向かえているものと痛感するところです。今期としては、まず活動内容別の課題を踏まえ、下記のことを実施して今後の方向性を導いて参ります。

#### 〔里親探し活動〕

- ・里親譲渡会への参加機会（回数）を増やします。
- ・従来の里親様とのネットワークを活かし、知人紹介による里親募集を増やします。
- ・インターネットによる里親募集に一層注力します。
- ・幼猫、仔猫に偏らず、成猫の里親募集にも目を向け、保護飼育期間の短期化に努めます。
- ・独自（オリジナル）の里親募集システムを促進します。
- ・安心かつ信頼できて、廉価な医療機関の開拓に努めます。

#### 〔物販収入活動〕

- ・知人宅の不用品の回収品数を増やします。
- ・フリマ、バザー催事への定期出店を増やします。
- ・手作り品や仕入品、特にネコグッズ販売に注力してリピート販売ができる仕組みをつくり、安定高収益化を図ります。
- ・企業や団体との連携に注力し企業寄付、支援を募ります。
- ・「ちょいず」の輪を拡げて連携協働の和に発展させます。

#### 〔地域猫への給餌活動〕

- ・常時、広く会員を募り、特定少数者の負担を軽減します。
- ・地域猫活動の意義と価値の啓蒙、啓発に注力促進します。
- ・他団体との協働活動を促進し連携活動に発展させます。

#### 〔清掃・美化活動〕

- ・猫活動に限らず活動の多様化をめざして会員を募ります。
- ・公共視点に立ち、広域に亘る美化運動を促進します。

継続課題としては、機能性と機動力の向上に不可欠な条件として、タイムリーに動ける会員（人材）の確保があげられます。また、広報力アップとして、現会員のレベルアップを図りつつ、固有技能を保有する活動参加型の会員獲得をめざします。

活動の目的は「ちょいず」の普及啓発と地域猫活動の啓蒙共働の促進役を果たして、市政のめざす‘心豊かな町づくり’を実現させることです。

国が示す「地方創生」と環境省提唱の「2020年に犬猫殺処分ゼロ」は各都市で実現にむけ着々と進行しており、小さな単位の社会コミュニティの盛り上げが重要な要素となるものと確信します。

	<p>ちょっとした思いやりと小さな力の結集が大きな成果をもたらすものと期待して止みません。</p> <p>ボランティア団体であっても、組織の改変、成長、発展、維持を最低限に保障するのは「ひと」「もの」「かね」であり、加えて柔軟な「情報」「コミュニティー」の力が作用することで継続的な活動に結び付いて行くものと考えます。活動を通じて思うことは『継続は力なり』です。</p>
--	---

(添付書類) 事業内容のわかる写真4~5枚(写真は返却いたしません。)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支決算書

事業の名称： 地域猫の活動

## 1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠等
支援金	775,039	あなたが選ぶ市民活動『ちょいず』支援事業支援金
事業収入	1,821,124	売上金：フリーマーケット等物販 52,650 医療負担金：里親様より譲渡時受領 1,035,000 寄付金：活動支援者より受領 733,474
自主財源	376,000	会費収入
合計	2,972,163	

## 2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠等（数量、単価等）
旅費	242,485	交通費、通行料、燃料費 （里親譲渡会、猫搬送、フリーマーケット等の利用）
消耗品費	795,197	食餌、トイレ砂、清掃具、文具、事務用品等の代金 （保護室、地域外猫、フリーマーケット等の用途）
食料費	0	
印刷製本費	80	広告貼紙コピー代
役務費	3,229	郵便料、通信料、振込手数料 （契約書、領収証、令状等の用途）
委託料	1,510,125	動物病院医療費 （検査、治療、投薬、処置等にかかる諸費用）
使用料及び賃借料	18,700	会場費 （里親譲渡会、フリーマーケット等の用途）
備品費（対象経費）	4,298	折りたたみゲージ 1台
対象経費	2,574,114	
対象外経費	398,049	
合計	2,972,163	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

(添付書類)

- ・ 事業の経費に係る領収書（原本）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。